allcinema

アレンジメント／愛の旋律（1969）

ARRANGEMENT

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 130分
初公開日 1970/02/21
公開情報 ＷＢ

【キャッチコピー】
あたらしい愛とセックスの燃焼！　そのアンチ・モラルな－－男女の赤裸々な姿！　大胆な構図と超現代的な感覚で描く巨匠エリア・カザンの問題作！

【解説】
　Ｅ・カザンが前著『アメリカ　アメリカ』の同名映画化に引き続き、自己のベストセラー『アメリカの幻想』を映画化したライフワークともいえる野心作。前作が渡米に賭ける青年の物語なのに対し、本作の主人公は移民２世の世代にあたり姉妹編ともいえる。
　公私共に充実した生活を送っていた男は、交通事故をきっかけとして、心は妻を離れ、過去に情事をむさぼりあった女の思い出ばかりが占め始める。回復後の彼の常軌を逸した行動は、周囲に理解されず、女との再会によりそれは決定的になる。やがて彼は、財産を妻に譲り、精神病院に送られてしまう。そして、地位も名声も捨て去った男は、女との生活に安らぎを見い出すのだった……。
　保守的なハリウッドにあって性的描写に一際こだわってきたカザンは、頻繁にセックス・シーンのフラッシュ・バックを多用し、当時、その大胆な描写は評判になった。長編小説の映画化だけに物語は単なる三角関係という訳ではなく、移民の果てに大恐慌で破産した父、ひたすら知性と教養でとりすます妻。主人公一家の影の立役者である顧問弁護士など多彩な登場人物を織り交ぜて、現代社会にあえぐ現代人の苦悩を描き出そうとしている。しかし、ニュー・シネマに伴いアメリカ映画が大きく変わっていった時期にベストセラーになったとはいえ、作品全体像の映像化によるアプローチは、愛とはふしだらな女性に安らぎを見いだすといった想定と共に素直に受け入れ難い。

【クレジット】

監督	エリア・カザン	Elia Kazan
製作	エリア・カザン	Elia Kazan
原作	エリア・カザン	Elia Kazan
脚本	エリア・カザン	Elia Kazan
撮影	ロバート・Ｌ・サーティース	Robert L. Surtees
音楽	デヴィッド・アムラム	David Amram
出演	カーク・ダグラス	Kirk Douglas
	フェイ・ダナウェイ	Faye Dunaway
	デボラ・カー	Deborah Kerr
	リチャード・ブーン	Richard Boone
	ヒューム・クローニン	Hume Cronyon
	キャロル・ロッセン	Carol Rossen
	ダイアン・ハル	Dianne Hull

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.